スマートキー対応型リモートエンジンスターター（RSSMK-01）取付・取扱説明書

パーソナルCARパーツ（ http://www.p-c-p.co.jp ）

はじめに

この度は、リモコンエンジンスターターRSSMKシリーズをご購入頂き誠にありがとうございます。
本書はリモートエンジンスターターRSSMKシリーズを安全にご使用頂く為の取付・取扱い説明書です。
この製品を正しく安全にご使用頂く為に、この取付・取扱説明書を良く読みになり、内容をご理解された上で実際にご使用になってください。

取付けの前に

本機を取り付ける際は、予めバッテリーのマイナス側ターミナルを取り外し、感電、短絡事故が発生しないよう、充分に気をつけて作業を行ってください。
短絡（ショート）を発生させると最悪の場合、各種ＥＣＵ（車に装着されているコンピュータ）が破損し走行不能に陥ることも予想されます。
充分予備知識を蓄えた上で、取り付け作業にとりかかるとこをお勧めします。　また、取付けに関するサポートは出来る限りさせていただきますので、お気軽にメールをください。
車種毎の配線図を車を購入されたディーラから入手されると、より具体的なサポートが可能となりますので、ご一考願います（必要な部分は、キーシリンダー周り、ギアポジション信号周り、メーター周り、パーキングブレーキ、フットブレーキ周りの緯線図です。）
それでは、本機が快適なカーライフの一助となれば幸いです。

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使い頂き、お客様や周りの方、物への被害を防ぐために必ずお読みください。

★換気の良くない場所（ガレージ・立体駐車場・地下駐車場）で使用しないでください。排気ガスが充満して大変危険です。
★マフラーが雪で埋もれた状態で使用しないでください。排気ガスが室内に充満する恐れがあります。
★車にボディーカバーを掛けたまま使用しないでください。発火の恐れがあります。
★車の近くに燃えやすい物が無い事を確認してからご使用ください。火災の恐れがあります。
★リモコンはお子様の手が届かない場所に保管してください。誤操作により事故の恐れがあります。
★お子様やペットなどを車内に残したままで使用しないでください。事故の恐れがあります。
★リモコンは直射日光のあたる場所・車内・暖房器具の近く等、高温になる場所に保管または使用しないでください。リモコンが高温になり故障の原因となります。
特にダッシュボード上は非常に高温になりますので、絶対に放置しないでください。
★マニュアル車へ取り付ける事は絶対にしないでください。マニュアル車の場合冬季にパーキングブレーキの凍結を防ぐためパーキングブレーキをかけずにギアをローもしくはバックに入れ駐車する場合があります。また坂道などで駐車する際もギアをローもしくはバックに入れます。その状態でエンジンスタートを使用すると無人走行の原因となり、大事故に繋がる場合がございます。
★取付の際の配線接続はハンダ付けやギボシ端子をご使用になり、確実に接続してください。接続が不確実な場合、大電流により発火や火災の原因となる場合があります。

免責事項

装着の着手を以って、以下についてご了解いただいたものとさせていただきます。
１．本装置の装着は全て自己責任のもとで実施願います。
２．本装置装着による結果、または装着過程において、どのような事態に陥っても製作者に責は無いものとします。
３．当方から提供する　車種専用装着資料の記載内容が実車と異なる場合においても、弊社に責は無いものとします。

取付け制限事項

●本機はプッシュ式スタートシステム装着車専用です。
●スマートキーシステム装着車の場合で本機を装着する場合は、予備のスマートキーを本機に内蔵する必要があります。
●スマートキー装着車で本機を使用される場合、本機に内蔵搭載するスマートキーは予備のスマートキーの電子回路部分のみを搭載し、スペアキーを非常時用として保管する事をお勧めいたします。
●本機は車両安全上、リモートエンジンスタートを継続したまま開錠出来ない仕様となっております。必ず本機のリモコンによるエンジンストップ、または（エンジンストップ＆開錠）をしてからエンジンを再スタートさせてください。
●本機はリモートスタートシステムの構造上、車両の鍵を開錠せずにリモートスタートさせますので、セキュリティーシステムが搭載されている車両の場合、各種センサーが反応し警報を発生させる場合がございます。
●純正のオートライト搭載車でエンジン停止後もドアオープンするまでライトが消灯しない車両があります。その場合はドアオープン信号を本機の該当線に接続する必要があります。未接続でご使用の場合リモートスタート終了後にライトが消えずバッテリー上がりの原因となる場合があります。
※ドアオープン信号がプラスコントロール（ドアを開けた時０Ｖ→１２Ｖに変化する車両）の場合は別途オプションの極性反転リレーが必要になります。
●本製品は１２Ｖ車専用です。２４Ｖ車にはお取付できません。
●エンジン始動時にアクセル操作が必要な車の場合、本機によるリモートスタートが困難な場合があります。
●エンジン始動時にチョークレバーを引くお車の場合、本機によるリモートスタートが困難な場合があります。
●年間を通じ、エンジンの始動動作をして２秒程度でエンジンの掛からないお車の場合、本機によるリモートスタートが困難な場合があります。
●ドアアンロック用リレーの装着の有無は別紙タイプ別判別フローをご確認の上装着してください。車両タイプ４に該当する場合はオプションリレー（ARL-03）が別途必要となります。
●ハザードスイッチ制御はプラスコントロール、または直接駆動タイプの場合はオプションのウインカー直接駆動リレー（HRL-04）を装着する必要があります。
●リモコンの受信ユニットのアンテナは出来るだけダッシュボードの上や室内に引き伸ばしてください。（設置位置により受信距離が大幅に変わる場合があります）

オプションのサイレン、ウインカー直接駆動用リレー（HRL-04）、極性反転リレー、アンロックモーター駆動リレー（ARL-03)は下記サイトより購入できます。
詳細は弊社Webページ　http://www.p-c-p.co.jp/　よりご確認ください。

商品内容、付属品をご確認ください。

商品をお取付頂く前に本体・付属品等に不足が無いか、またお届けの商品に破損・断線が無い事をご確認ください。
不足や破損があった場合はお取付せずに弊社へご連絡くださります様お願いします。

内容物	数量	内容物	数量
本体	1	ボタン電池アダプター	1
リモコン	1	ボタン電池アダプター用母材	２（大・小）
リモコン受信部接続済み本体配線	1	スポンジテープ	１枚
取付け説明書（本書）	1		

※車種別専用セットをご購入の場合は付属品が異なります。

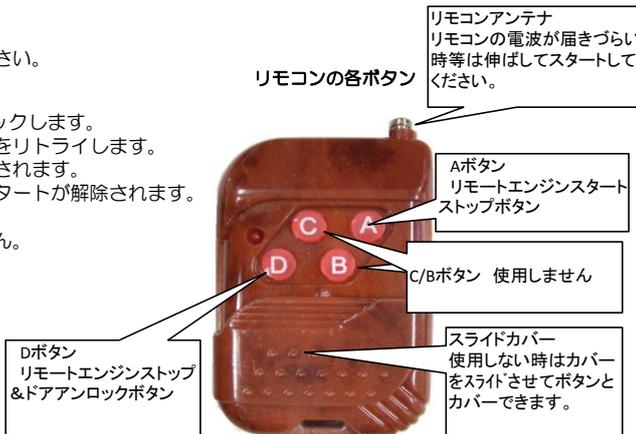
動作仕様

本装置の動作仕様は下記のとおりとなります。　装着後、下記仕様で正常作動するかご確認ください。
☆専用リモコンのAボタンを押してエンジンスタートします。
☆リモートエンジンスタート中に専用リモコンのAボタン押下でエンジンストップします。
☆リモートエンジンスタート中に専用リモコンのDボタン押下でエンジンストップとドアアンロックします。
＊何等かの理由でリモートエンジンスタートが出来なかった場合、３回までエンジンスタートをリトライします。
リトライを３回繰り返してもエンジンスタート出来なかった場合はリモートスタートは解除されます。
☆リモートスタート中にパーキングブレーキかギアポジションに変化があった場合はリモートスタートが解除されます。

＊ギアポジションやパーキングブレーキが正しい位置に無い場合はリモートスタートはしません。

パーキングギア、ギアポジション位置でのリモートスタート条件

ギアポジション	パーキングブレーキ	リモートスタート
Ｐレンジ	有効	可
Ｐレンジ	無効	可
Ｐレンジ以外	有効	可
Ｐレンジ以外	無効	不可

☆リモートエンジンスタート後１５分経過後、自動でエンジンを停止します。
☆リモートエンジンスタート成功時にハザードランプを１回点滅させます。※オプションのサイレンを接続時はアンサーバックサイレンも併せて１回吹鳴します。
☆リモートエンジンスタート失敗時はハザードランプを２回点滅させます。※オプションのサイレンを接続時はアンサーバックサイレンも併せて２回吹鳴します。

取付け準備

＊取り付けに必要な工具と部品

取り付けには、装置からの信号線を車体側の各種信号線と接続しますので、結線先配線を確認するためのテスター、検電器をご用意ください。
また、結線作業に必要なニッパー、ペンチ、ドライバー、絶縁テープ等を準備願います。

**※キーシリンダー周りの配線は大電流が流れますので、配線分岐の際はエレクトロタップを使用せず、ギボシ端子やハンダ付けで確実に結線してください。
接触不良や、最悪の場合車両火災等に発展する場合があります。**

●スマートキーの電子回路・ボタン電池の組み込み（スマートキー装着車のみ）

スマートキーシステム搭載車の場合、本機にスマートキーの電子回路を本体に組み込む必要があります。

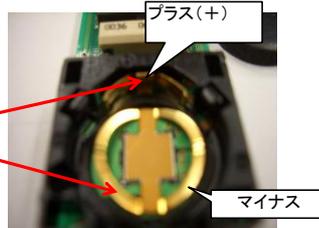
※スマートキーの電子回路取り出しは自己責任で実施ください。故障やトラブルの場合の責は負いかねます

①スマートキーを分解し電子回路を取り出します。
※分解は電池交換の手順で行います。

②取り出したスマートキーの電子回路からボタン電池を取り出し電池ケース部分の端子極性を確認します。

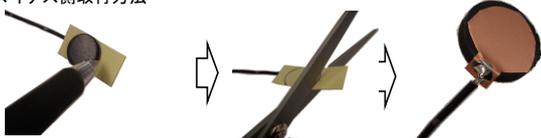
注意：端子極性（プラス、マイナス）はスマートキーによって異なりますので、ボタン電子の極性と電子回路側の電池接触面を良くご確認頂き、電子回路側の極性を確認してください。

写真の例の場合はボタン電池のプラス（＋）が上側となっていましたので奥側がプラス、下側がマイナスとなります。

極性例

③ボタン電池のサイズと同じサイズの付属のボタン電池アダプターにスマートキー起動用の電源極板を取付ます。

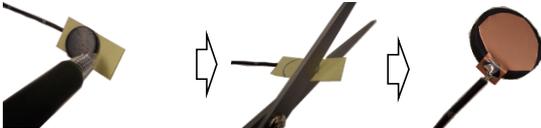
アダプターの配線極性は
赤：プラス
黒：マイナス
となります。

③-1　側面プラス極性、底面マイナス極性の場合

マイナス側取付方法

黒線の付いた銅プレートをアダプタの大きさに合わせてカットし片面に貼り付けます。
※他の箇所に接触しない様に銅プレートは一回り小さめにカットしてください。

プラス側取付方法

赤線の付いた銅プレートをアダプタの大きさに合わせてT字型にカットし先端面をアダプターの側面に貼り付けます
※他の箇所に接触しない様に側面の銅プレートは一回り小さめにカットしてください。

③-2　底面マイナス極性、上面プラス極性（挟み込み式）の場合

黒線の付いた銅プレートをアダプタの大きさに合わせてカットし片面に貼り付けます。
同じ様に赤線の付いた銅プレートを反対側にも貼り付けます。
※他の箇所に接触しない様に銅プレートは一回り小さめにカットしてください。

重要
③－１．③－２とも銅プレートをアダプタに貼り付ける際は配線部分をずらして、それぞれの配線が接触しない様に貼り付けてください。
赤／黒配線の銅プレート部、または配線同志が接触してしまうとショートによりスマートキーの電子回路が故障する場合があります。

④　③で銅プレートを張り付けたアダプターをスマートキー本体の電池ホルダーに装着します。

⑤アダプターを装着した際に、アダプターに取り付けた配線が他の所に接触しない様に配線を取り回してください。
また、銅プレート面はしっかりと電池ホルダーの極性部分に接触しているかご確認ください。

⑥本体裏側の４か所のネジを外し本体ケースを開けます。

ボタン電池アダプターコネクタ差込口

⑦本体内部（写真の位置）にスマートキーの電子回路を置き、ボタン電池アダプターのコネクタを上写真の位置のコネクタに差し込みます。配線の取り回しに注意して上側ケースを被せ、裏蓋のネジ４か所を締めてください。
※スポンジでスマートキーの電子回路を固定する様に搭載位置を工夫してください。

⑧上蓋側のスポンジでスマートキーの電子回路が動かない様に固定してください。。

⑨スマートキータイプによっては固定が難しい場合がありますので、固定がゆるい場合は付属のスポンジテープを基盤側にも貼り付けて固定してください。

注意
スマートキーの電子回路を取り付ける際は回路のボタン等が押されない様にスマートキーの電子回路の位置をスポンジに合わせて固定してください。緩い場合は付属のスポンジテープを基盤側にも貼り付けて挟み込む様に固定してください。
※写真は、実際の製品と異なる場合があります。

☆車両作業の前にご確認ください☆
本体の結線作業の前に、本体電源配線のヒューズを取り外してください。結線終了し、本体にコネクタを挿した後に、ヒューズを元に戻します。ヒューズを付けたまま結線作業を行なうと、本体が故障する場合があります。

●配線の車体側接続先の確認

本装置を取り付けるには以下の車両配線を特定する必要があります。

※各配線は、取付け車種の配線図があれば容易に信号線の場所は特定できますが（購入されたディーラからコピーを入手する等）、無い場合テスターを使って探す必要がありますので、テスターや電検ペンをご準備の上接続先配線を特定してください。

○常時１２V電源線	常に１２Vの配線
○ACC電源線	アクセサリ電源
○プッシュスタートON信号①	プッシュスタートがONの時１２Vに変化する配線
○プッシュスタートON信号②	プッシュスタートがONの時１２Vに変化する配線 ※プッシュスタートON信号２はお車によっては無い場合もあります。
○パーキングブレーキ信号	パーキングブレーキを引いた時に１２V→０Vに変化する配線
○パーキングポジション信号	ギアポジションがP位置の時に０V→１２Vに変化する配線
○フットブレーキ信号	フットブレーキを踏んでいる間だけ１２Vに変化する配線
○ドアアンロック信号線	車両タイプ判別フローで車両タイプ１の場合はドアアンロック時、一瞬１２V→０Vに変化スイッチ信号線 車両タイプ４に該当する場合は、アンロック時一瞬０V→１２Vに変化する配線となります。
○ハザード信号線	ハザードスイッチを　ＯＮ　位置にしたとき、出力電圧に変化が見られる配線です。 オフのときに１２Vとなっていて、オンのときに０V（ボディーアース）となる車両はマイナスコントロール車両です。 オフのときに０V（ボディーアース）となっていて、オンのときに１２Vとなる車両はプラスコントロール車両です。
○ドアオープン信号線	ドアオープン時１２V→０Vに変化する配線または、０V→１２Vに変化する配線
○L信号線	プッシュスタートがONの時０V、エンジンスタート後に１２Vに変化する配線

配線先イメージ図

左配線先情報はイメージです。
必ず、実際の配線はディーラーより配線図をご入手頂くか、テスターにて各信号線をご確認ください。

ハザードスイッチ

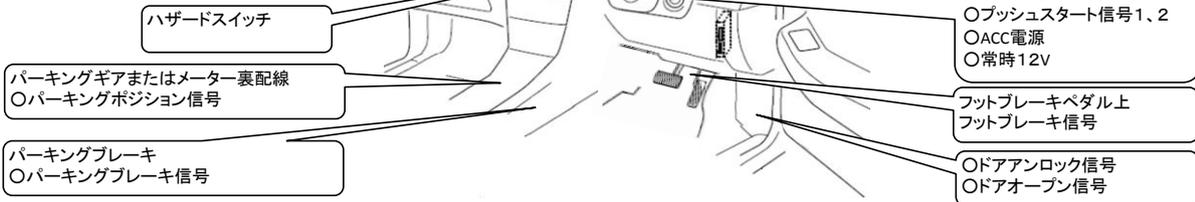
パーキングギアまたはメーター裏配線
○パーキングポジション信号

パーキングブレーキ
○パーキングブレーキ信号

メーター裏
○L信号

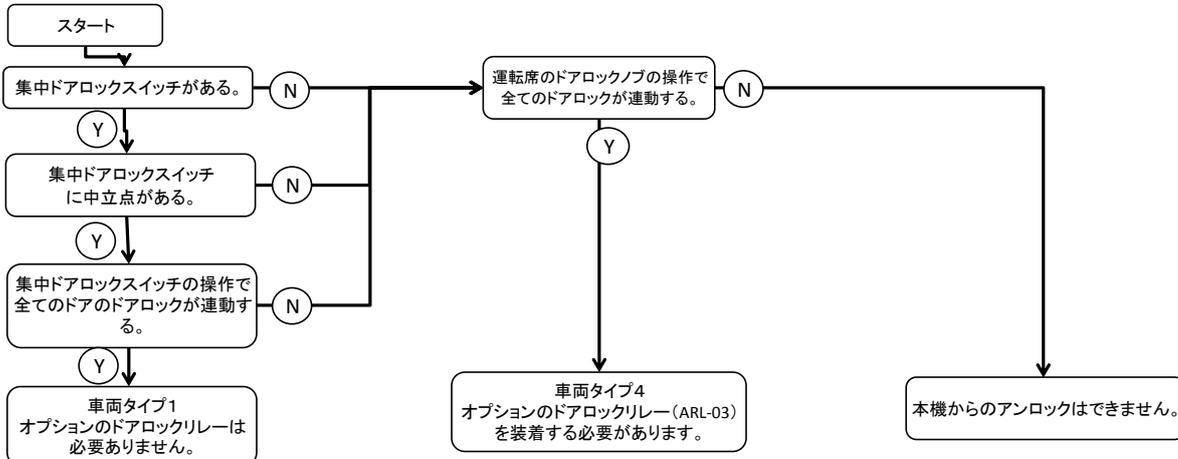
プッシュスタートボタン裏
○プッシュスタート信号1、2
○ACC電源
○常時12V

フットブレーキペダル上
フットブレーキ信号

○ドアアンロック信号
○ドアオープン信号

●ドアアンロックタイプの確認

ドアアンロック配線はお車の制御方式によって結線方法（オプションのドアアンロックリレーARL-03の取付の有無）が異なります。

下記フローにて車両タイプを判別して頂き、ドアアンロックリレー必要の有無をご確認ください。

※本機とドアアンロック用リレーの結線方法は別紙配線図をご確認ください。

●ハザードスイッチの信号線は制御方式によって結線方法（リレー装着の有無）が異なります。必ずテスターまたは電検ペンで制御方式をご確認ください。

ハザードスイッチを押した時に１２V→０Vに変化する配線がある場合はマイナスコントロール方式となり、車両配線へ直接接続が可能です。

前述以外の車両の場合はオプションのウインカーコントロール用リレー（HRL-04）の装着の必要があります。

※本機とウインカーコントロール用リレーの接続方法は別紙配線図をご確認ください。

取付方法

①バッテリーのマイナスターミナルを外します。

②装置本体とリモコンユニットの設置位置を仮決めし、各配線の長さを確認します。

※事前に取付準備項目の「スマートキーの電子回路・ボタン電池の組み込み」を実施して、本体にスマートキーを組み込んでください。

※リモコンユニットのアンテナ線はダッシュボード上など出来るだけ見えやすい場所に設置してください。（アンテナの設置場所によりリモコンの動作可能距離が変動します）

※各配線取付の際は必ず本体と取付配線のコネクタは取り外した状態で行ってください。結線中の思わぬ通電で本体が故障する恐れがあります。

※必ずは配線接続前に本体配線の赤線（常時電源）のヒューズを外してから作業を開始してください。

③取付準備で調べたお車の各信号線へ下図の装置配線先を参考にそれぞれ結線していきます。

④本体と取付配線のコネクタを接続し、本体配線のヒューズを接続してから、バッテリーのマイナスターミナルを繋ぎます。

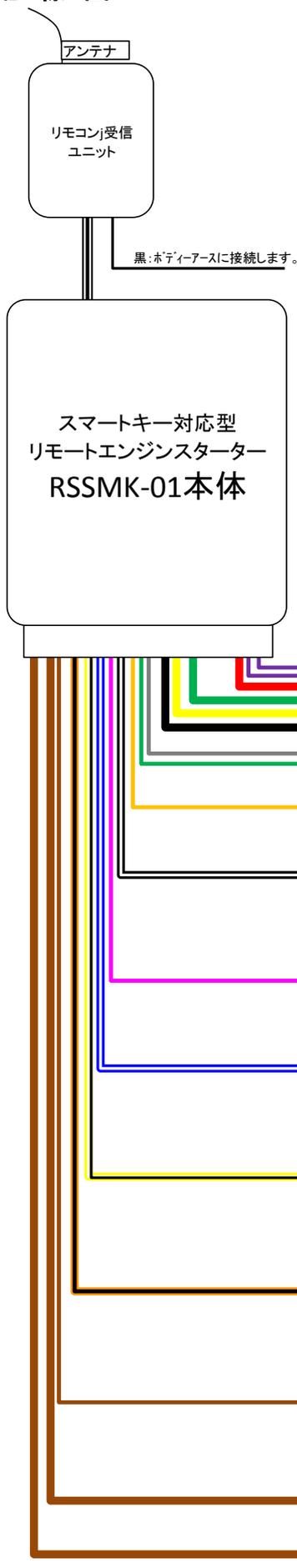
⑤動作仕様を元に動作確認をします。

⑥動作確認が完了したら装置を固定して完了です。

注　意

バッテリーのマイナスターミナルを外すと、パワーウインドウ、ナビ、パワースライドドア等の初期化操作が必要となる場合があります。必要に応じて車両マニュアルをご覧いただき、必要な操作をお願いいたします。

本体配線一覧表

配線色	説明	配線色	
赤（太）	常時電源（＋）	白／黒	ステータス信号（－）
緑（太）	ﾄﾞｱｵｰﾌﾟﾝ信号（－）　ドアオープン信号がプラスコントロール（ドアを開けた時に0V→12Vに変化）の場合はオプションの極性反転リレーを介して接続する必要があります。	桃	エンジン始動確認信号（＋）
黄（太）	ACC電源（＋）	茶（細）	アンサーバックサイレン信号（＋）　オプションのサイレン（SRN-01またはSRN-03）接続時にアンサーバックサイレンを吹鳴する事が可能です。ご使用にならない場合は絶縁処理をしてください。
黒（太）	ボディーアース	橙／黒	アンサーバックハザード信号（－）　プラスコントロール車、ウインカー直接駆動タイプの場合はオプションリレー（HRL04）を介して接続する必要があります。
紫1	プッシュスタート用ON信号　１（＋）	青／白	アンロック信号（＋）　本線はスイッチ制御信号用ですので、ドアロックアクチェーターは駆動できません。車両タイプ4に該当する車両の場合、オプションのドアアンロックリレー（ARL－O3）を介して接続してください。
紫2	プッシュスタート用ON信号　２（＋）	黄／黒	アンロック信号（－）
灰	パーキングブレーキ信号（－）	茶色（太）１	本機では使用しません。絶縁処理をしてください
緑（細）	ギアポジション信号（＋）	茶色（太）２	本機では使用しません。絶縁処理をしてください
橙	フットブレーキ信号（＋）		

装 置 配 線 図
アンテナ
リモコンj受信
ユニット
黒:ﾎﾞﾃﾞｨｰｱｰｽに接続します。
スマートキー対応型
リモートエンジンスターター
RSSMK-01本体
紫
紫
START
紫1:プッシュスタート用　ON信号1
プッシュスタートボタンがスタート状態の時に12V→0Vに変化する配線に接続します。
紫2:プッシュスタート用　ON信号2
プッシュスタートボタンがスタート状態の時に12V→0Vに変化する配線に接続します。
※お車によってはON信号が1本の場合があります。その場合は結線せずに絶縁処理をしてください。
赤(太)
+
-
赤色(太):常時12V電源(バッテリー電源)
装置の駆動電源です。オーディオ電源等の常時12Vが流れている配線から分岐してください。
緑(太)
紫1:ドアオープン信号(任意接続)
ドアが開けられた時に12V→0Vへ変化する配線に接続します。ドアランプやルームランプの配線が該当します。
0V-12Vに変化する車両の場合はオプションの極性反転リレーを介して接続します。
※オートライト未装着、または、エンジン停止時にオートライトが自動消灯する車両は結線の必要はありません。
黄
黄(太):ACC電源
プッシュスタートボタンを1回押した時に12Vに変化する配線に接続してください。
オーディオやナビ裏のACC電源からの分岐でも構いません。
黒
黒(太):ボディーアース
車体の金属部へ接続してください。
灰
灰:パーキングブレーキ信号
パーキングブレーキを引いた時に12V→0Vに変化する配線に接続します。
緑(細)
緑:ギアポジション信号
ギアポジションがパーキング位置の時に12Vに変化する配線に接続します。
橙
橙色:フットブレーキ信号
フットブレーキを踏んだ時に0V→12Vに変化する配線に接続します。
白/黒
白／黒:リモートスタート中0V出力(－500mAまで)信号線(任意接続)
市販のイモビバイパスユニットのコントロール線を繋ぐ事が可能です。
※イモビバイパスユニットの起動仕様については各製造メーカーにご確認ください。弊社のサポート対象外となります。
桃
桃色:L信号
キー位置がONの時0V、エンジンスタート後12Vに変化する配線に接続します。本線はエンジン始動判定用です。本線が12Vに変化する事でエンジンスタートと判定されます。
青/白
青／白:ドアアンロック信号(プラスコントロール用)
ドアロックスイッチのアンロック配線へ接続します。
ドアロックモーター配線とは異なりますのでご注意ください。誤ってドアロックモーター配線に接続されますと本体が故障します。
黄/黒
黄／黒:ドアアンロック信号(マイナスコントロール用)
ドアロックスイッチのアンロック配線に接続します。
※車両タイプ1の場合はアンロックリレーの必要はありません。
※車両タイプ4の場合はオプションのアンロックリレー(ARL-03)の紫線
橙/黒
橙／黒:ハザード信号線
ハザードスイッチを押した時に12V→0Vに変化する車両の場合はハザード信号線に接続します。それ以外の場合はオプションのウインカー駆動用リレー(HRL－04)制御用になります。
茶(細)
茶(細):アンサーバックサイレン信号
オプションのアンサーバックサイレンの＋側に接続する事で、始動時にアンサーバックサイレンを吹鳴させる事が出来ます。
茶(太)
茶1(太)本機では使用しません。絶縁処理をしてください。
茶(太)
茶2(太):本機では使用しません。絶縁処理をしてください

ドアアンロックリレー配線図（オプションリレーARL-03）

車両タイプ判別フローで車両タイプ４に該当する車両の場合はリモートスターター本体と接続してドアアンロック配線に接続する必要があります。

車両タイプ１の場合は必要ありません。
取付けに関する詳細資料は弊社「車速感応式ドアロック装置」資料（弊社HPにて公開中）をご参照ください。

付属ドアアンロックリレーユニット

紫
アンロックコントロール線
（リモートスターター本体の黄／黒線に接続してください）

橙
使用しません。絶縁処理をしてください。

赤
バッテリー電源
（リモートスターター本体の赤線に結線してください）

黒
ボディーアース
リモートスターター本体の黒線に結線するか、ボディーアースに接続してください。

赤/黒
ドアロックアクチュエータ配線　ロック時12v
ドアロック時に短い間だけ＋12Vとなる線を切断後のアクチュエータ側

赤/白
ドアロックアクチュエータ配線　アンロック時12v
アンロック時に短い間だけ＋12Vとなる線を切断後のアクチュエータ側

白/青
ドアロックアクチュエータ配線　アンロック時12v
アンロック時に短い間だけ＋12Vとなる線を切断後の制御ユニット側

緑/黄
ドアロックアクチュエータ配線　ロック時12v
ドアロック時に短い間だけ＋12Vとなる線を切断後の制御ユニット側

ロック時
12Vとなる線

切断

ドアロックスイッチ

ドアロックコントローラ

アンロック時
12Vとなる線

間違い厳禁

運転席
ドアロック
アクチュエータ

注　意　！
ロックコントローラー側/ロックアクチェーター側 ならびに アンロックコントローラー側/アンロックアクチェーター側の配線の結線場所をUnLockCtrl / UnLockAct 配線の結線場所を間違えると装置破損、車両故障する可能性があります。必ずテスターを用いて、取り付け手順に従った手順で取り付けを行ってください

ドアオープン信号極性反転用リレー（オプション）

ドアオープン信号がプラスコントロール（ドアを開けた時０V→１２Vに変化する車両）の場合は本リレーを接続して極性を反転する必要があります。
マイナスコントロール（ドアを開けた時に１２V→０Vに変化する車両）の場合は必要ありません。